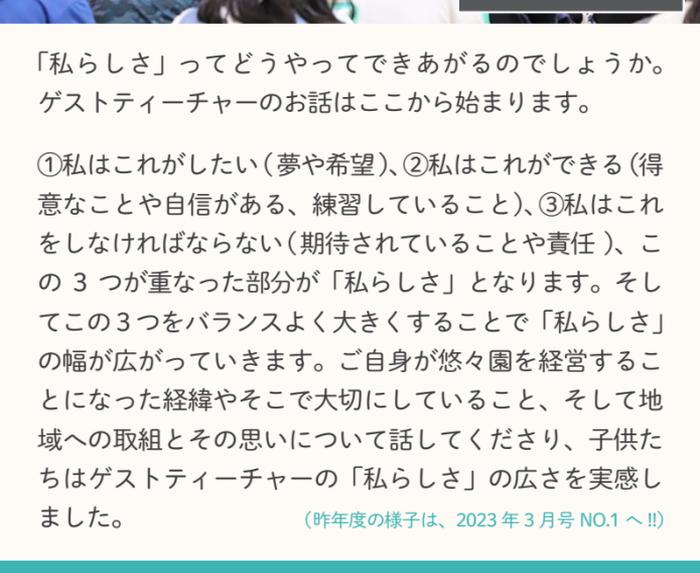


交流1 総合的な学習の時間（スキル科）

【総合】 私らしくあなたらしく～MY LIFE PLANNING～

2学期になると卒業までの半年間をかけて、「なりたい自分」を見付け、最終的に自分らしい生き方を追究できる力をもつことを目標としたスキル科（総合）の授業が始まります。たくさんの方と関わり、たくさんの気付きがある半年間です。3段階に分けて活動します。最初にゲストティーチャーから「私らしさ」を教わります。

9/14 「私らしさ」ってなんだろう？



ゲストティーチャー

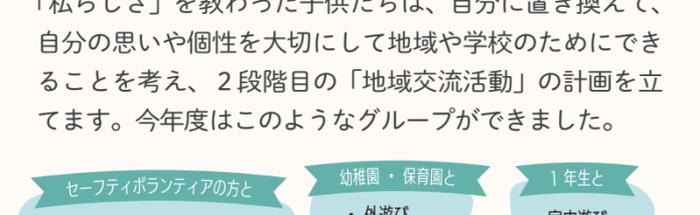
ゲストティーチャーはどなた？
▶ お子様に関く
▶ 昨年度のうしごだよりを讀む

「私らしさ」ってどうやってできあがるのでしょうか。ゲストティーチャーのお話はここから始まります。

①私はこれがしたい（夢や希望）、②私はこれができる（得意なことや自信がある、練習していること）、③私はこれをしなければならぬ（期待されていることや責任）、この3つが重なった部分が「私らしさ」となります。そしてこの3つをバランスよく大きくすることで「私らしさ」の幅が広がっていきます。ご自身が悠々園を経営することになった経緯やそこで大切にしていること、そして地域への取組とその思いについて話してください、子供たちはゲストティーチャーの「私らしさ」の広さを実感しました。

（昨年度の様子は、2023年3月号NO.1へ!!）

ゲストティーチャーに聞いてみよう



Q 6年生のころの夢は？

A 「障害のある姉のために施設を作りたい」と、6年生のときの作文に書いた。やりたいことを口に出すことが大事。そうすると、周囲が認めてくれて、自然と情報が集まる。

Q 福祉の仕事につこうと思ったのは？

A 6年生のとき、中学生のとき、姉のいる施設で歌を披露して、喜んでもらったことが嬉しく、そういった経験を重ねて、夢が近づいてきた。

Q 悠々園でつらいことは？

A いつも（別れや自分の立場から）。でも、楽しいことも同じ位いつもある。自分が決めたことだから頑張れる。小さなありがたの積み重ね（入所者からの褒めの言葉）がやりがいにつながっている。

11/27.28 「地域交流会」 自分のよさや相手のよさを生かして、地域や学校のために活動しよう。

「私らしさ」を教わった子供たちは、自分に置き換えて、自分の思いや個性を大切に地域や学校のためにできることを考え、2段階目の「地域交流活動」の計画を立てます。今年度はこのようなグループができました。

- セーフティボランティアの方と
 - ・旗振り体験をして感謝を伝える
- 幼稚園・保育園と
 - ・外遊び
 - ・室内遊び
 - ・学校案内
- 1年生と
 - ・室内遊び
- 悠々園の利用者の方と
 - ・歌披露
 - ・クイズ、折り紙・プレゼント
- 鶴川の人たを元気に
 - ・ポスターを掲示（校外）

交流会に向けて招待状を作ったり、インタビューをして事前に準備をしたりと意欲的に計画を進め、交流会を迎えました。それぞれのグループが校外内で交流し、たくさんの気付きを得たようです。それらを友達や低学年の子たちに共有できるように真摯に受け止めていたグループもあり、頼もしく感じました。計画通りにできなかったこともあったようですが、活動後に振り返りをしっかりと行い、自分の強みや弱さを見つめ直しました。これは3学期に行う最後のまとめにつながります。

（昨年度の様子は、2023年3月号NO.1へ!!）

EPISODE



【セーフティボランティアの方と】 登校時の旗振りに参加して、その後学校にて交流を行いました。旗振り前には極意も伝授いただき、交流会では嬉しいことや困っていることをうかがいました。事前インタビューをして用意していた校内用の注意書きポスターを披露し、最後に感謝の気持ちを伝えました。



【幼稚園・保育園と】 近隣の幼稚園と保育園の年長児さんを招待し、少しでも学校を知って楽しんでもらうため、グループごとにいろいろな遊びを企画し、交流しました。最後は、折り紙で作ったプレゼントも渡しました。年長児さんも終始楽しく過ごせたようで、笑顔があふれていました。



【1年生と】 1年生に楽しんでもらえるように、人数が多くてもできる内容を考えました。先生の力も借りながらの交流でしたが、素敵なお兄さんお姉さんの6年生と楽しく遊んで、プレゼントをもらって1年生も大満足でした。



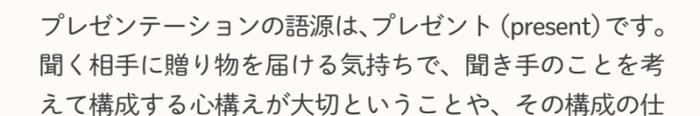
【悠々園の利用者の方と】 利用されている方たちと、クイズや折り紙での交流をしました。鶴二小のおはこである「虹」を振り付きで披露した歌中には、たくさんの拍手をいただき、利用者みなさんの笑顔を引き出すことができました。



【鶴川の人たに向けて】 鶴川の人たを元気にしたいというテーマで、各自取材をしてポスターをつくり、町内会の掲示板やポプリホールなどに掲示していただきました。地域の人を思いやることで、地域のよさに改めて気付くこともできました。

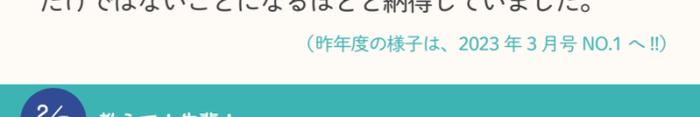


【1/17 プレゼンテーションの仕方を学ぼう！】



ゲストティーチャー

ゲストティーチャーはどなた？
▶ お子様に関く
▶ 昨年度のうしごだよりを讀む



「私らしくあなたらしく」の活動の最後に、「なりたい自分宣言」の発表があります。その発表の手助けとなるように、プレゼンテーションの仕方を教わりました。

プレゼンテーションの語源は、プレゼント（present）です。聞く相手に贈り物を届ける気持ちで、聞き手のことを考えて構成する心構えが大切ということや、その構成の仕方や表現方法を具体例を交えて説明していただきました。

子供たちはクロムブックを開いてメモをとりながら、発表するということは、ただ前に立って画面の文字を話すだけではないことになるほどと納得していました。

（昨年度の様子は、2023年3月号NO.1へ!!）

2/6 教えて！先輩！



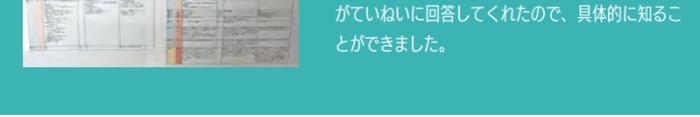
ゲストティーチャー

この日は、「なりたい自分」にどうやってなっていくのか漠然とした思いでいる子供たちに、鶴二小の卒業生が貴重な体験談を話してくれました。

ゲストティーチャーは、大切な人を「食」で守りたいと、大学で管理栄養士になるため学んでいます。また高校生の時から地域活動である「こども食堂」に参加しています。勉強やボランティア活動をする中で、気付きがたくさんあったそうです。それは、いろいろなことにチャレンジすること、時に怒られたり失敗することも大切で、その先に成長があるということ。やらない後悔よりやって後悔する方がよいと、子供たちに熱心に語りかけてくれました。

（昨年度の様子は、2023年3月号NO.1へ!!）

ゲストティーチャーに聞いてみよう



Q 夢を断念せざるを得ない時はどうすれば？

A 見方を変えて、それに関わる仕事を考えてみるという方法もある。

Q 大学に入るためにいつから勉強するとよい？

A 早くから目標を決めて勉強する人もいるが、高校2年生で決めて勉強を始める人が多いのでは。

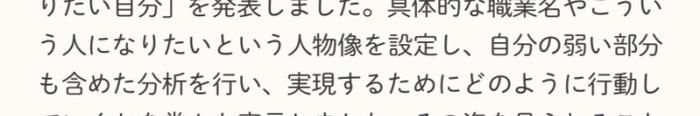
Q 中、高、大で一番宿題が多いのは？

A 私立だったが、中学が一番多かった。<ここで中学入学を目にした6年生から、悲鳴があがっていました。>

Q 小、中、高でやっておい方がいいことは？

A 小学校はとにかく遊ぶ！中学校は知識や経験を広げる。高校1年は高校生を楽しんで高校2年から勉強。

中学生に聞いてみよう



中学生になると勉強や生活リズムにどのような変化があるのかなどが気になる6年生。職場体験できた鶴二中の2年生に直接聞いたり、鶴二小卒の中学生に向けてアンケートをとったりしました。先輩たちがいてねに回答してくれたので、具体的に知ることができました。

3/5 「なりたい自分」を宣言する！

1年生のときから「なりたい自分」を設定して、活動を続けてきました。その都度振り返りをして、途中で目的に合っているかを確認したり、学んだ力や改善策を適応したりする「学びの調整」を行っています。これにより、自分で自己の成長やよさに気付き、なりたい自分像や自分らしい生き方を追究できる力をもてるようになります。

これらの活動を6年間日常で行い、さらにこの半年で自分を深く見つめ直した6年生は、この日さまざまな「なりたい自分」を発表しました。具体的な職業名やこういう人になりたいという人物像を設定し、自分の弱い部分も含めた分析を行い、実現するためにどのように行動していくかを堂々と宣言しました。その姿を見られることを期待しています。

（昨年度の様子は、2023年3月号NO.1へ!!）

EPISODE

プレゼンテーションの授業で教わったことを生かしたつくり方になっていて、イラスト等を効果的に使って自分にできる表現をしていました。自分の弱みにも向き合っており、よく分析されていました。参観していた学校運営協議会のメンバーからも激励の言葉をいただき、未来に向けて引き締まった表情をしていたのが印象的でした。

交流 2,3はNO.2へ